

# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		みどりの情報発信				整理番号	621		枝番号					
担当部課名		公園緑地課		コード	221904		連絡先電話番号	3593		昨年度整理番号	637			
係名					みどりの計画係					上位施策名		No		
予算事業名					みどりを育てる					コード		63900		
										水辺とみどりの保全創出		12		
事業開始年度					●昭和 ○平成 48年度					<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業				
事業の種類					<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理					根拠法令等				
対象					<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他					(1) みどりの条例 第2条				
										(2)				
										(3)				
全ての区民										事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)				
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)					みどりの新聞「みどりとひと」の発行、緑化パンフレット、緑化副読本など様々な印刷物の発行を通して地域緑化の普及啓発を図る。					区民の地域緑化への関心を高め「区民が創る『みどりの都市』杉並」の実現を目指す。				
活動指標名(式)										成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標				
(1) みどりの新聞閲覧率 = 町会加入世帯数 / 区世帯数										(1) みどりのボランティア杉並参加者数				
(2) 緑化副読本配布率 = 配布 + 販売 / 印刷部数										(2) (代) 花咲かせ隊活動団体数				
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%					
					計画	実績								
指標	活動指標(1)		%	58	57	56	57	57						
	活動指標(2)		%	97	97	97	97	100						
	成果指標(1)		人	98	80	150	112	125	150	74.7				
	成果指標(2)		団体	53	65	100	82	90	100	82.0				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,484	4,530	5,263	5,442	4,617	<b>特記事項</b> <small>(指標、事業費等の変化の理由など)</small> 16年度発行部数内訳 みどりの新聞 17000部 ×3回 = 51000部 緑化副読本3800部 みどりのベルトづくり計画パンフレット1,000部 みどりのリサイクル計画パンフレット 1,000部 緑化事業パンフレット 2,000部					
	(内)委託費		千円		4,788		886	0						
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40						
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	3,633	3,598	3,640	3,640	3,640						
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0						
	総事業費 + +		千円	6,117	8,128	8,903	9,082	8,257						
	単位あたりコスト ÷		円	105,466	142,596	158,982	159,333	144,860						
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0		0				
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0		0				
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0		0				
差引:一般財源 -		千円	6,117	8,128	8,903	9,082	8,257							
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の16年度達成率%	101.8	活動指標(2)の16年度達成率%	100.0	16年度予算執行率%	103.4						
			「みどりのベルトづくり計画」と「みどりのリサイクル計画」の内容をみどりの新聞に掲載する予定だったが、冊子の作成に変更したため。											
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			16年度より町会を通しての回覧のみではなく区のホームページにも全文を掲載し区民のみどりに関する情報の共有化の底上げを図っている。											

## 平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	当初の区の独自の編集から区民との協働による発行をおこなっている。	
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	発行に携わっているみどりのボランティアを含めてボランティア自身の情報発信の場の拡大を求める声と一方では行政のより緻密な情報を求める声もある。	
	今後の予測	より多くの情報をより効果的に発信するために編集方針を絞っての発行を検討する。	
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: みどりに関するボランティア自身の情報発信の場として期待は大きい。	
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容:  理由または具体的内容: より多くの情報を発信して情報当たりのコストを下げることは可能である。	
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 区民向けの普及・啓発の情報発信でありその内容についても無償のボランティア活動によるものが大きな比率を占めている。	
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 可能性の検討はインターネットによる発信であるが全ての区民を対象とするとその情報を見れず不公平になる。現在はホームページに全文を掲載している。	
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ ) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ ) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容 )	みどりの新聞の発行についてはその企画、取材、編集について区民の参画で行っている。  理由または具体的内容: みどりのボランティア杉並の活動の一環として行っている。	
	(6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ ) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容 )	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み      現在の取り組みを継続して行い質の高い情報の発信を続ける。	

今後の事業のあり方(中長期)	<b>成果:</b> <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 <b>コスト:</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 みどりの施策については都市化の進行とともに様々な要望が出ると思われる。これに対応するためにみどりの情報の発信は施策
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 情報の発信にあたってはその効果をあげるためには質の高いものが要求される。
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 現在の協働によりながらより質の高い情報の発信を進める。

# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		みどりの基金の活用				整理番号	622		枝番号			
担当部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221904		連絡先電話番号	3593		昨年度整理番号	638	
係名		みどりの計画係				上位施策名			No			
予算事業名		みどりを育てる		コード	63900		水辺とみどりの保全創出			12		
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		15 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等							
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) みどりの基金条例 (2) 杉並区みどりの基金運営要綱 (3) 杉並区みどりの基金緑化活動助成金交付要綱							
	緑化活動を行う区民や団体		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)									
区民の緑化活動への助成 緑化活動を行う人材育成に 関すること 民有の樹木保全に関すること みどりの普及啓発に かんすること その他みどりの保全・創出に関すること		緑化活動を行う人材の育成をはじめとするみどりの保全及び 緑化の推進を図る。										
活動指標名(式)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標										
(1) 活動助成予定件数		(1) 活動助成応募件数(団体)										
(2) みどりのボランティア参加者数		(2) 助成団体構成員数										
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%			
指標	活動指標(1)		件	4	10	4	10	10	40.0			
	活動指標(2)		人	100	150	88	150					
	成果指標(1)		件	20	20	4	10	10	40.0			
	成果指標(2)		人	100	100	100	150					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	129	720	98	950	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)				
	(内)委託費		千円	0	0	0	0					
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.30	0.30	0.30						
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	0	2,698	2,730	2,730					0
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0					0
	総事業費 + +		千円	0	2,827	3,450	2,828					950
	単位あたりコスト ÷		円		706,750	345,000	707,000					95,000
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0					0
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0					0
		特定財源計 +		千円	0	0	0					0
差引:一般財源 -		千円	0	2,827	3,450	2,828	950					
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.0	0.0					
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	40.0	活動指標(2)の16年度達成率%	58.7	16年度予算執行率%	13.6	みどりの基金の活用については助成額が活動費の1/2でボランティア活動参加者にも1/2の負担を求めるため申し込み件数が伸びなかった。				
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		前年度からの負担率の軽減や助成内容の充実の要望に対応するため17年度みどりの基金の改定の庁内検討を行う。										

## 平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成15年度よりの事業であるが15年度が4団体、16年度が4団体と応募する団体が少ない。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	基金の活用について初期の段階では主な目標について人材の育成を挙げている。助成を受けやすい制度にするべきであるとの要望は多い。
	今後の予測	助成のあり方を検討し杉並区のみどりづくりに関心のある人々の支えとなる制度づくりが求められる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由:区民が創る「みどりの都市」杉並を支える基礎的な制度である。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	理由または具体的内容:助成について現在の半額助成では活動するボランティアなどにとっては魅力がない。 理由または具体的内容:緑化活動に貢献するボランティア活動については、補助対象経費の全額を補助するような制度の改正が必要である。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容:区民が行う区での緑化活動での受益者は区である。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容 )	理由または具体的内容:緑化活動の中身によっては助成からボランティア団体などとの有償契約を行うことによって自立したボランティア団体(NPO)となりくの慮化活動の推進を図ることも視野に入れる必要
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ ) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ ) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容 )	理由:みどりの基金による助成のみでは実現には限界がある。 理由または具体的内容:より自立した団体を育成することにより基金の助成によるボランティア活動から区との契約による緑化行政に参画する団体を育成する。
	(6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ ) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容 )	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み みどりの基金の助成については助成対象と助成率の変更が必要である。

今後の事業のあり方(中長期)	<b>成果:</b> <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 <b>コスト:</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 みどりの基金の助成についてはボランティア個人や団体の育成について対象を絞り、自立した団体については行政のパートナー
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 事務手続きなどのコストに反映する作業の効率化が求められる。
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 みどりの基金の助成のあり方について17年度に検討を行い新たなみどりの基金の助成のあり方を決定する。

# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		みどりの講座の開催				整理番号	623		枝番号								
担当部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221904		連絡先電話番号	3593		昨年度整理番号	639						
係名					みどりの計画係					上位施策名		No					
予算事業名					みどりを育てる					コード		63900		水辺とみどりの保全創出		12	
事務事業の概要	事業開始年度			○ 昭和 ● 平成		12 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業									
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等											
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) みどりの条例 第2条 (2) (3)											
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			広報すぎなみなどで参加者を募集し、区内の施設や公園などを会場に緑化に関する講座を開催する。									事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 講座をとおして区民のみどりに関する意識や知識を高め「区民が創る『みどりの都市』杉並」の実現を図る。				
	活動指標名(式)			(1) 講座開催数(コマ数) (2) 募集人員									成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 参加人数 (2) 参加率 = 参加人数 ÷ 募集人員				
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%								
指標	活動指標(1)		回	16	7	12	4	20	20	20.0							
	活動指標(2)		人	238	336	600	200	1,000	1,000	20.0							
	成果指標(1)		人	174	200	600		1,000	1,000	0.0							
	成果指標(2)		%	73	60	100		100	100	0.0							
総事業費・コスト把握	事業費		千円	518	366	476	100	745	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)								
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0									
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.50	0.40	0.30	0.30	0.30									
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	4,542	3,598	2,730	2,730	2,730									
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0									
	総事業費 ++		千円	5,060	3,964	3,206	2,830	3,475									
	単位あたりコスト ÷		円	316,250	566,286	267,167	707,500	173,750									
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	9			100						
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0			0						
		特定財源計 +		千円	0	0	0	9			100						
差引:一般財源 -		千円	5,060	3,964	3,206	2,821	3,375										
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.3	2.9										
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	33.3	活動指標(2)の16年度達成率%	33.3	16年度予算執行率%	21.0	執行体制の未整備により講座数が伸びなかった。									
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		講座によっては参加者に実費の負担を求めた。															

## 平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	みどりの施策に関する区民の関心は高く、様々な要望が多い。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	身近なみどりづくりに関する区民の要望は多い。
	今後の予測	計画的、系統的に講座を開催しみどりに関心のある区民の緑化活動への増加を目指す。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由:具体的に日々の緑化活動に結びつく講座を開催することで区民の緑化に関する活動を拡大する。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( へ ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容:  理由または具体的内容: 緑化活動を行う区民との協働でみどりの講座を開催することを検討する。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容:参加者に対する実費の徴収。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容 )	理由または具体的内容:みどりのボランティアなどとの協働で行うことで負担の軽減を図る。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 実現していない(今後可能性あり)(具体的内容 ) 協働等の相手 協働等の形態	理由:みどりのボランティアなどと協働で開催する。
	協働等のあるべき姿 (6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( へ ) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容 )	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 17年度から剪定講座などの講師をボランティアに依頼する。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 現在執行体制の不足のため十分に講座を実施できていないが今後は区民の参画をさらに推し進めみどりの講座の活性化を図る。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 質の高い講座の開催についてボランティアなどと十分に協議する。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	支出の負担増をなくして区民参画によりみどりの講座の活性化を図る。

# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		みどりのイベントの開催				整理番号	624	枝番号				
担当部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221904	連絡先電話番号	3593	昨年度整理番号	640			
係名					みどりの計画係			上位施策名				
予算事業名					みどりを育てる			No				
					コード			63900				
					水辺とみどりの保全創出			12				
事務事業の概要	事業開始年度				○ 昭和 ● 平成		13 年度					
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業					
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		根拠法令等 (1) みどりの条例第2条 (2) (3)					
	全区民								事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) みどりのボランティアや事業者の活動などを通して区民に対して区の緑化施策に対する理解と協力を得る。			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				みどりのボランティア杉並や区内造園事業者などとの協働によりみどりに親しむイベントを開催する。							
活動指標名(式)				(1) イベント開催数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 来場者数 (2) 参加率 = 来場者数 / 参加者数				
				(2) イベント参加受入れ予定数								
区分		単位	14年度実績		15年度実績		16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績				
指標	活動指標(1)		回	1	1	1	1	1	1	1	100.0	
	活動指標(2)		人	42	200	200	200	200	200			
	成果指標(1)		人	42	200	250	500	1,000				
	成果指標(2)		%	100	100	125	250	500				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	12	86	88	85	103	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0				
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.30	0.40	0.20	0.20	0.20				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	2,725	3,598	1,820	1,820	1,820				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	2,737	3,684	1,908	1,905	1,923				
	単位あたりコスト ÷		円	2,737,000	3,684,000	1,908,000	1,905,000	1,923,000				
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	4				0
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0				0
		特定財源計 +		千円	0	0	0	4				0
差引:一般財源 -		千円	2,737	3,684	1,908	1,901	1,923					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0					
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の16年度達成率%	100.0	活動指標(2)の16年度達成率%	100.0	16年度予算執行率%	96.6	予算は資材費のみである。			
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			みどりのボランティアや区内造園事業者との協働の充実と、公園緑地課の他の事業と併せて開催することで、より参加型のイベントとした(地域の名所づくりによる種まきや犬のしつけ教室など)。									

## 平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	当初の普及啓発活動から現在の区民・事業者の参加型のイベントとして育ってきている。	
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	参加型のイベントとして区民、みどりのボランティア杉並、事業者の関心は高い。	
	今後の予測	みどりに関する区民参加型の取り組みとして、今後も充実してゆく。	
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 区民、事業者参加型のイベントとして定着しつつある。	
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 事業費・活動量の増加(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 一般の参加者の拡大のためのパブリシティーの充実や広報でのPRを拡大する。	
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容: イベントによっては参加者からの実費の徴収で受益者負担を求める。	
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容 )	理由または具体的内容: 企画や実施について区民参加を進めるとともに参加者の大幅な増加を目指しコストの削減を行う。	
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ ) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ ) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容 )	理由: 現在の取り組みをさらに充実する。 理由または具体的内容: イベントの実施についてはみどりのボランティアの各団体や区内造園事業者各社による参加など参加型のイベントとして定着しつつある。	
	協働等のあるべき姿 (6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ ) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容 )	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み   現在の取り組みを更に充実する。	

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)   事業のあり方点検欄を踏まえて記入 区内のみどりに関心のある区民や事業者が区と協働で行うみどりの普及啓発活動である。この活動を今後もコスト意識をもちな	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 コストの上昇が考えられる。これを克服するためには更に多くのボランティアが参加しての取り組みが重要になる。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	現在進めている区民と事業者と区の三者による協働の取り組みを更に充実するとともに十分なPRが行える体制づくりをする。



# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		みどりのボランティア				整理番号	625		枝番号		
担当部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221904	連絡先電話番号	3593		昨年度整理番号	641	
係名					みどりの計画係			上位施策名		No	
予算事業名					みどりを育てる			コード		63900	
					水辺とみどりの保全創出					12	
事務事業の概要	事業開始年度				○昭和 ●平成		13年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業		
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等				
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) みどりの条例 第2条 (2) 杉並区「みどりのボランティア杉並」設置要綱 (3)				
	区内で緑に関するボランティア活動を希望する個人				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				区民が創る「みどりの都市」杉並の実践となる緑化活動を推進し、継続性のある独立したボランティア組織を育成する。						
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 登録者数				(1) ボランティア活動の延べ人数							
(2) グループ数				(2) ボランティア活動の件数							
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		人	100	80	150	110	150	150	73.3	
	活動指標(2)		団体	22	22	14	12	15	150	8.0	
	成果指標(1)		人	102	80	150	930	1,000	1,000	93.0	
	成果指標(2)		件	21	14	14	114	150	150	76.0	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	120	245	715	350	358	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0			
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.00	0.90	0.90	0.70	0.70			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	9,083	8,095	8,190	6,370	6,370			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	9,203	8,340	8,905	6,720	6,728			
	単位あたりコスト ÷		円	92,030	104,250	59,367	61,091	44,853			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	9,203	8,340	8,905	6,720	6,728				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	73.3	活動指標(2)の16年度達成率%	85.7	16年度予算執行率%	49.0	資材費などの節減による。			
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		ボランティア活動と活動への支援が少しずつ機能し始め、区民主体による自主的かつ定期的な活動が行われている。こうした活動の中から、地域のボランティア活動のリーダーが誕生しつつあり、ボランティア同士の輪も広がってきている。									

## 平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	地域緑化へのボランティア指向は着実に広まっている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	みどりのボランティアの活動に対する区民の関心は高い。
	今後の予測	区のみどりの施策の実施においてみどりのボランティアが担う役割は今後とも大きくなる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: みどりのボランティアは今後の区のみどりの施策の大きな部分を担う。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( へ ) 成果向上のための方策 対象の拡大(具体的内容 )	理由または具体的内容:  理由または具体的内容: きめ細かい支援やみどりの講座などによる啓発活動を通してみどりのボランティアの活動を活性化する。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: ボランティア活動の環境づくりの支援である。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	基本経費はボランティア保険の加入費のみである。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している( へ ) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( へ ) 協働等の形態 協働[その他](具体的内容 )	理由:  理由または具体的内容: みどりのボランティアはその多くがみどりの施策にそった区民活動である。
	協働等のあるべき姿 (6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( へ ) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容 )	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 区との連携を密にして杉並区の緑化活動に貢献する。

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)   事業のあり方点検欄を踏まえて記入 みどりは区民共有の財産であるという認識でみどりのボランティアと区は協働の活動を更に進める。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ボランティア活動の裾野を広げることが今後の事業の継続と拡大のためには重要である。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	きめ細かな支援を継続しボランティア活動を杉並区の緑化活動の中心とし「区民が創る『みどりの都市』杉並の実現を目指す。

# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名			みどりの相談所			整理番号	626		枝番号		
担当部課名			都市整備部公園緑地課		コード	221904		連絡先電話番号	3593		
係名			みどりの計画係			上位施策名			No		
予算事業名			みどりを育てる		コード	63900		水辺とみどりの保全創出			
事務事業の概要	事業開始年度			●昭和 ○平成		63年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) みどりの条例 第2条 第6条					
	緑化情報を必要としている個人			(2)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			(3)							
	区立塚山公園管理棟に、みどりの相談コーナー、みどりの図書コーナー展示講義室等を備えた「みどりの相談所」を併設している。みどりの図書コーナーは井草森公園も設置している。			事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)							
活動指標名(式)			成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(1) 相談室実施日数			(1) 相談件数累計								
(2) 相談講師数			(2) 来所者数								
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
指標	活動指標(1)		日	105	102	104	102	104			
	活動指標(2)		人	2	2	2	2	2			
	成果指標(1)		件	4,745	5,210	5,750	5,701	6,251			
	成果指標(2)		人	208	234	250	230	300			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	3,245	3,085	3,037	2,808	3,037	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円	1,460	1,460	1,380	1,379	1,380			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.20	0.10	0.10	0.10	0.10			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	1,817	899	910	910	910			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	5,062	3,984	3,947	3,718	3,947			
	単位あたりコスト ÷		円	48,210	39,059	37,952	36,451	37,952			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0			0
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0			0
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	5,062	3,984	3,947	3,718	3,947				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の16年度達成率%	98.1	活動指標(2)の16年度達成率%	100.0	16年度予算執行率%	92.5	資材費などの節減による。		
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			17年度にみどりの相談所の活性化に向けて検討会を行う。								

## 平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	緑化への関心が高まるなか、様々な緑化情報の提供要望が増加している。緑化相談は非常勤職員を含めて平日も相談業務を行っていたが現在は専門相談員による土日の実施である。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	通年の緑化相談やインターネットなどを利用した相談など充実が望まれている。
	今後の予測	みどりの相談や緑化情報の提供の充実が増加すると予測される。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由:地域緑化の推進のためには身近なみどりの情報提供と普及啓発は重要である。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 実施主体の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容:  理由または具体的内容:みどりの図書コーナーの維持管理や相談業務を、NPOなどとの協働で実施を検討する。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容:区民が区内の緑化を推進するための基本的な情報提供である。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容 )	理由または具体的内容:相談業務の曜日の拡大や相談所の配置の検討により相談者数を増加することでコストを削減する。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 実現していない(今後可能性あり)(具体的内容 ) 協働等の相手 協働等の形態	理由:みどりの相談所のあり方について長期的な検討がなされていない。  理由または具体的内容:
	(6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ ) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容 )	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 責任あるNPO団体等との契約によるみどりの相談所の運営を検討する。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 17年度検討のみどりの相談所の検討を踏まえて改革案をつくる。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 単純な相談所の稼働日数の増加についてはコストの増になる恐れがある。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	塚山公園にあるみどりの相談所を区民が利用しやすい適切な場所の検討も含めてみどりの相談所のあり方を考える。

# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		みどりの育成協定				整理番号	627		枝番号				
担当部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221904		連絡先電話番号	3593		昨年度整理番号	643		
係名				みどりの計画係				上位施策名		No			
予算事業名				みどりを育てる				コード	63900		水辺とみどりの保全創出		12
事務事業の概要	事業開始年度				● 昭和 ○ 平成		48 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) みどりの条例 第2条 第23条 (2) みどりの条例施行規則 第16条 (3)						
	協定を締結する区内1000㎡以上の敷地を有する工場、住宅				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				育成協定を結ぶことによって、工場や住宅団地等での緑化活動を進めやすくする。								
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標									
(1) みどりの育成協定数				(1) 苗木供給本数									
(2) みどりの育成協定面積				(2) みどりの育成協定苗木供給実績件数									
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%				
					計画	実績							
指標	活動指標(1)		件	9	6	10	4	10	10	40.0			
	活動指標(2)		㎡	109,666	21,800	10,000	14,678	10,000	10,000	146.8			
	成果指標(1)		本	205	145	900	73	900	900	8.1			
	成果指標(2)		件	5	4	10	3	10	10	30.0			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	353	277	831	215	831	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)				
	(内)委託費		千円										
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.30	0.20	0.20	0.20	0.20				0.20	
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	2,725	1,799	1,820	1,820	1,820				1,820	
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				0	
	総事業費 + +		千円	3,078	2,076	2,651	2,035	2,651				2,651	
	単位あたりコスト ÷		円	342,000	346,000	265,100	508,750	265,100				265,100	
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0				0	0
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0				0	0
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0				0	0
差引:一般財源 -		千円	3,078	2,076	2,651	2,035	2,651	2,651					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	40.0	活動指標(2)の16年度達成率%	146.8	16年度予算執行率%	25.9	1,000㎡以上の敷地所有者、管理者との協定となるため、マンションの管理組合などが増える傾向にある。そのため、総意を得るために時間がかかる場合が多く、相談はあるが、協定に至らない例が多い。					
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		区公式HPや緑化事業パンフレットなどとおしPRを行った。											

## 平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	都市化に伴う敷地の細分化が進む一方、新築マンションなどでは当初から計画的な植栽が実施されるなど、対象となる施設が減少する傾向にある。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	協定者からは、苗木の供給を受け緑化を進めることにより、住環境や景観の向上が計れるので喜ばれている。
	今後の予測	大規模開発などにより、新たな協定対象の出る可能性がある。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由:対象地の多くは緑化余力があり、緑化用苗木の供給などを行うことで地域のみどりの創出効果がある。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容:  理由または具体的内容:地域緑化、生活環境改善のための事業であることを積極的にPRし、理解を得る。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容:協定に基づく敷地内緑化への支援が目的であるため、受益者負担の見直しの余地はない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容:緑の保全、創出策として小規模事業であるが、現状で継続されるべきである。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ ) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ ) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容 )	理由:  理由または具体的内容:緑化余力地への支援により区内緑化を進める事業であり、供給した苗木による緑地の維持管理は協定により敷地の所有者、管理者の責務となるので、そういう意味では、新たな緑地を協働で創出していると考ええる。
	(6) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ ) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容 )	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み:区が供給した苗木を、協定者が自ら植えていることは協働の範疇であると考え、今後も同様に事業を進める。ただし協定の種地の発掘も重要である。

今後の事業のあり方 (中長期)	<b>成果:</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 <b>コスト:</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 協定の趣旨を理解してもらえよう積極的にPRに努めるとともに、協定締結時には苗木の供給本数増を計る。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 協定の申請があつてはじめて事業が成立するので、PRに努めるとともに、照会等があつた場合は、極力協定が結べるよう積極的な対応を行う。また、協定のなかで、より多くの植栽が行われるようアドバイスを行うようにする。
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 協定内容や数は予算の範囲内で行う。

# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		生けがき協定				整理番号	628		枝番号				
担当部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221904		連絡先電話番号	3593		昨年度整理番号	644		
係名				みどりの計画係				上位施策名		No			
予算事業名				みどりを育てる				コード	63900		水辺とみどりの保全創出		12
事務事業の概要	事業開始年度				●昭和 ○平成		48年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) みどりの条例 第2条 第21条 第22条 (2) みどりの条例施行規則 第13条 第14条 第15条 (3) 杉並区生けがき協定における補助金交付要綱						
	生けがきを保全する目的の協定を締結した所有者				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				敷地の道に面した部分(道路境界から1メートルの範囲)に造成された10メートル以上の生けがき、植え込み、フェンス緑化を保全、育成する協定を締結した場合、区はその協定を認定するとともに維持管理費の一部を補助する。								
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標									
(1) 生け垣協定数(累計)				(1) 協定を締結している生けがきなどの延長									
(2) 新規生け垣協定申し込み数				(2) 生けがき協定保全率(生けがき協定数 ÷ 生けがき協定累計数 × 100)									
区分		単位	14年度実績		15年度実績		16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
			計画	実績	計画	実績							
指標	活動指標(1)		件	10	14	18	22	24	28	78.6			
	活動指標(2)		件	3	5	2	8	2	6	133.3			
	成果指標(1)		m	55	112	20	295	315	355	83.1			
	成果指標(2)		%	100	93	94	96	96	97	99.0			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	129	107	110	230	146	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) (補助金交付額) 維持費用 生けがき1m当たり250円/年 植え込み1㎡当たり100円/年 フェンス緑化1m当たり50円/年 (3年ごとに交付する)				
	(内)委託費		千円	0	0	12	0	8					
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.30	0.20	0.20	0.20	0.20				0.20	
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	2,725	1,799	1,820	1,820	1,820					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 ++		千円	2,854	1,906	1,930	2,050	1,966					
	単位あたりコスト ÷		円	285,400	136,143	107,222	93,182	81,917					
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0				0	
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0				0	
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0				0	
差引:一般財源 -		千円	2,854	1,906	1,930	2,050	1,966						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%		122.2	活動指標(2)の16年度達成率%		400.0	16年度予算執行率%		209.1			
		計画以上の生けがき協定が締結された。											
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		補助金制度の見直しのなかで、3年に1度という補助金の方法を、毎年助成への変更を検討するとともに、保護生けがき制度との統合を考えている。											

## 平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	10m以上の生けがきを対象に造成費の割増助成をしていたが、平成12年度より対象の拡大と、緑の保全育成を目的とするため、管理費の一部補助の制度に変更した。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	生けがきの維持管理にはお金がかかるので、多少でも補助金をいただけるのは助かる。
	今後の予測	平成12年の制度の変更により、協定数が増加するとともに、接道部における保全される緑増えると考え。制度としては、補助金制度の見直しの中で、保護生けがき制度との統合を進める。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 区内の良好な生けがき等の創出・保全が図られる。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 協定数の増加に比例して事業費も増加する。 理由または具体的内容:
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 生けがき等の保全・育成を目的に協定を認定する制度であるため、見直しの余地はない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 生けがき等の良好な維持管理には、補助金の数倍から数十倍のお金と労力がかかるので、生けがき等の保全のためには、コストを下げるべきではない。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ ) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ ) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容 )	理由: 理由または具体的内容: 1mあたり年間250円の補助金により、道に面した生けがきを良好に保つことができる。委託料については生けがき協定標識板の設置である。
	(6) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ ) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容 )	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み: 事業の現状において、最小の予算で最大の効果を得ている事業といえるので、当面この形態を進める。

今後の事業のあり方 (中長期)	<b>成果:</b> <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 <b>コスト:</b> <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)   事業のあり方点検欄を踏まえて記入 生けがき協定について理解を得られるよう、PRに努める。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 現在の3年に1度という補助金の方法が、制度をわかりにくくしている面もあり、また、生けがきの維持管理には相当なお金と労力を要するため、毎年助成が必要と考える。保護生けがきとの統合を視野に入れた制度の改革を行う。
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 該当協定者数に応じた増加がある。 現在、みどりの条例の改正に取り組んでおり、改正が終わるまでは従来どおりすすめる。条例改正のなかで、保護生けがき制度への統合を検討する。



# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		みどりの基金(積立金)				整理番号	629		枝番号		
担当部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221904	連絡先電話番号	3593		昨年度整理番号	645	
係名					みどりの計画係			上位施策名		No	
予算事業名					みどりを育てる			コード	64650		
					水辺とみどりの保全創出					12	
事務事業の概要	事業開始年度				○ 昭和 ● 平成		14 年度				
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		根拠法令等 (1) 杉並区みどりの基金条例 (2) 杉並区みどりの基金運営要綱 (3)				
	基金に寄付をしてくれる個人や団体										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				緑化活動を行う人材の育成をはじめとするみどりの保全及び緑化の推進を図るための事業に要する経費の財源に充てるため区民、及び事業者と杉並区が協働して基金を募る。						
活動指標名(式)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 5億円を目標に基金を積立、区民の緑化活動を推進する。							
(1) 基金寄付件数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 年間総基金寄付額							
(2) 継続基金寄付団体				(2) 継続基金寄付団体基金寄付額							
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)			24	50	22	50				
	活動指標(2)			3	10	4	10				
	成果指標(1)			1,746	2,000	345	2,000				
	成果指標(2)			79	500	220	500				
総事業費・コスト把握	事業費		千円		3	0	0	0	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 15年度予算はパンフレットと事務費		
	(内)委託費		千円		0	0	0	0			
	職員数(常勤 非常勤)		人		0.10	0.10	0.10	0.10			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	0	899	910	910	910			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	0	902	910	910	910			
	単位あたりコスト ÷		円		37,583	18,200	41,364	18,200			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0			0
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0			0
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	0	902	910	910	910				
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.0	0.0				
16年度予算執行状況(節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	44.0	活動指標(2)の16年度達成率%	40.0	16年度予算執行率%		みどりの基金の趣旨やみどりの募金との区別化ができていないため区民の認識が深まっていない。			
前年度の改革案の取り組み状況(17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		みどりの基金(積立金)については17年度に実施するみどりの基金検討会で活性化の方策を検討する。									

## 平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	基金の積み立ては件数は前年と同程度であるが目標には及ばない。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	みどりの募金との違いについてなど「杉並区みどりの基金」の趣旨がわからないとの意見がある。
	今後の予測	杉並区の緑化施策の充実のため今後とも基金の充実を図る。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 現在は小規模であるがみどりのボランティア活動を行っている区民にとって活動の基盤となる。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容:  理由または具体的内容: 寄付者にとっても緑化活動に対して参加意識が醸成できるような使い方をして広く区民にみどりの基金を認知してもらう。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 募金活動による歳入である。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容 )	理由または具体的内容: 基金の使い方や募金の仕方のPRを充実することで積立金の増加によりコストを削減する。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ ) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ ) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容 )	理由または具体的内容: 基金を趣旨を理解していただいたうえで広く個人や企業を含めて協働を実現基金の募金活動を活性化させる。
	(6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ ) 協働等の形態 協働[その他](具体的内容 )	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み PRの充実を図り全ての区民や企業に募金を呼びかけるそのための組織造りを充実する。

今後の事業のあり方 (中長期)	<b>成果:</b> <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 <b>コスト:</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 みどりの基金の活動を活性化するため本年度みどりの基金のあり方の検討を行う。 この中では現在基金の用途について人材育成などが挙げられているがこれを具体的なみどりづくりまで広げて広く区民の賛同を得られる活動を目指す。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 寄付行為の斡旋を区が直接行えないため、その受け皿となる組織づくりが課題である。
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 17年度に行う基金のあり方の検討により積立金の増加を目指す。

# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		学校のエコアップ				整理番号	630		枝番号			
担当部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221908	連絡先電話番号	3595		昨年度整理番号	646		
係名					みどりの事業係			上位施策名		No		
予算事業名					みどりを創る			コード		64100		
								水辺とみどりの保全創出		12		
事務事業の概要	事業開始年度				○ 昭和 ● 平成		13 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) みどりの条例第2条					
	区立学校						(2)					
	区立学校						(3)					
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)					事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)							
区立学校において、道路の面した塀等を生けがき化したりフェンス緑化する。また、様々な生き物が生息できる場所としてピオトープを設置したり、学校の校庭を緑化する。					過密化した地域において学校は防災上、まちなみ景観上、環境改善上重要なオープンスペースであることから、地域緑化の先導的役割を果たすとともに特に、移動性動物の移動ネットワークの拠点とする。							
活動指標名(式)					成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 接道部緑化整備延長(m)					(1) 整備延長 ÷ 接道部緑化計画延長 × 100							
(2) ピオトープ設置校数					(2) 設置校数 ÷ 設置計画学校数 × 100							
区分		単位	14年度実績		15年度実績		16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%	
			計画	実績	計画	実績						
指標	活動指標(1)		m	281	113	260	158	260	1,820	8.7		
	活動指標(2)		校	2	2	2	2	2	14	14.3		
	成果指標(1)		%	108	43	100	61	100	100	60.8		
	成果指標(2)		%	100	100	100	100	100	100	100.0		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	15,534	13,503	36,500	40,620	56,100	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内)委託費		千円									
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.30	1.17	1.10	1.15	1.10				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	2,725	10,523	10,010	10,465	10,010				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	18,259	24,026	46,510	51,085	66,110				
	単位あたりコスト ÷		円	64,979	213,185	178,885	323,938	254,269				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0				0
差引:一般財源 -		千円	18,259	24,026	46,510	51,085	66,110					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の16年度達成率%	60.7	活動指標(2)の16年度達成率%	100.0	16年度予算執行率%	111.3	ブロック塀、万年塀を取り外して生けがき化するのは学校の安全、安心の観点からむずかしい。既存フェンスにつる植物を絡ませたりする手法が主流になってきている。			
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			スクールピオトープについては資材提供による整備を1校実施した。									

## 平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	接道部緑化については万年塀やブロックベイをとりはずして生けがきや植樹帯にする事業であったが、安全安心の危機管理意識の高まりから既存フェンスにつる植物を絡ませたりする手法が主流になってきている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	接道部緑化については塀をはずして生けがき化すると防犯上問題があるのでフェンスをそのまま生かした緑化を中心に考えてもらいたい。校庭の緑地化は代替の校庭の確保が難しいことから工期短縮を考えてほしい。
	今後の予測	接道部緑化についてはフェンスをそのまま生かした緑化が主体になる。校庭の緑地化は種蒔きではなくロール芝の導入が主体となる。ピオトープについては造成整備から学校主体となって整備する手法へ移行する。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: みどりを増大させるための地域緑化の先導的な役割を果たすため大変重要である。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容:  理由または具体的内容: ピオトープは業者委託から、手作りのための資材提供へ移行することにより、より多くの効果を得ることができる。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 区自らの施設を緑化するため
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 施工する場所の条件によりコストが変わってくるが、近年は条件が厳しいところが多いためコストの下がる余地がない。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ ) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ ) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )	理由:  理由または具体的内容: 専門業者による造成整備を行なっている。
	(6) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ ) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 整備については専門業者への委託が主流であるが、維持管理や、ピオトープの関りあい方についてはNPO団体等も今後増えるべきである。

今後の事業のあり方 (中長期)	<b>成果:</b> <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	<b>コスト:</b> <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 校庭緑化については芝生の種をまく方法から、工期短縮に対応したロール芝の導入する。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 芝生の種をまく方法からロール芝に変更した場合、コストの増加が認められる。ただ、工期短縮は校庭を使用できない期間を大幅に縮小するとともに発育盛りの児童に対して、精神的負担が減るため、保護者及び関係者にこの事業に対する賛同を得られやすい。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	校庭緑化については工期短縮に対応したロール芝の導入することにより、コストが上がる。

# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		みどりのリサイクル				整理番号	631		枝番号	1	
担当部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221908	連絡先電話番号	3595		昨年度整理番号	647	
係名					みどりの事業係			上位施策名		No	
予算事業名					みどりを創る			コード		64100	
					水辺とみどりの保全創出					12	
事務事業の概要	事業開始年度				○ 昭和 ● 平成		13 年度				
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		根拠法令等				
	公園、学校、道路、河川、公共施設						(1) みどりの条例第2条				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				公園、学校をはじめとした公共施設の樹木維持管理により発生した剪定枝葉を可能な限りチップ化するなどして焼却せずに資源化する。また、学校や公園に落ち葉溜めを設置して落ち葉の堆肥化を進める。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)				
	活動指標名(式)						成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標				
				(1) 発生材の資源化量(t)		(1) 資源化率 = (再資源化量 ÷ 発生材の総量) × 100					
				(2) 落ち葉溜め設置校		(2) (代) 落ち葉溜め設計累計					
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		t	797	441	500	511	500	500	102.3	
	活動指標(2)		箇所	4	4	3	3	3	3	100.0	
	成果指標(1)		%	100	100	100	100	100	100	100.0	
	成果指標(2)		箇所	11	15	18	18	21			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,579	1,890	935	1,377	1,075	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円								
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.10	0.72	0.72	0.72	0.12			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	908	6,476	6,552	6,552	1,092			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	2,487	8,366	7,487	7,929	2,167			
	単位あたりコスト ÷		円	3,120	18,971	14,974	15,507	4,334			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	2,487	8,366	7,487	7,929	2,167				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の16年度達成率%	102.3	活動指標(2)の16年度達成率%	100.0	16年度予算執行率%	147.2	配当予算内で落ち葉溜め3基を設置することは無理であり、特に学校要望の多い12連型設置は難しい。		
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			落ち葉溜めの腐葉土利用が進み、土づくりの意識が高まってきた。みどりのリサイクルとしての位置づけが明確になってきており、一層の充実が求められている。								

## 平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	植物系発生材の焼却処分の減少と自区内処理の増加。公園の落ち葉の区民配布などを実施してきた。平成15年度にはみどりのリサイクル検討懇談会を実施、民間のみどりのリサイクルを含めた総合的なみどりのリサイクルへ着手。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	平成14年度に実施したみどりの実態調査のアンケート調査では、みどりのリサイクルに対して72%の区民が興味を示している。
	今後の予測	植物系発生材の再資源化を自区内で拡大するため、具体的なリサイクルプログラムを作成し、平成17年度より積極的に資源化に努める。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由: 植物系発生材の自区内処理と活用を拡大していく。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策 対象の拡大(具体的内容 )	理由または具体的内容: 剪定枝葉はすべて資源化施設へ持ち込んでいる。 理由または具体的内容: 防音・防臭・防虫等の設備が整った「みどりのリサイクルセンター」が必要となる。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容: 公共施設においては、所管課のみどりのリサイクル費用を別途計上する必要がある。個人法人については、ゴミの有料化との兼ね合いを検討する必要がある。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 植物系発生材を焼却せずに自区内で積極的に資源化することでコストが増加する。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ ) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ ) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )	理由: 理由または具体的内容: 剪定枝葉はすべて資源化施設へ持ち込んでいる。自区内処理が実現できていない。
	(6) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ ) 協働等の形態 協働[その他] (具体的内容 )	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み: 個人・企業の力を借り、剪定枝葉・落ち葉を公共・民有を問わず回収し、堆肥化等処理後、元の場所へ戻す(元の場所で活用する)しくみづくりが円滑に運用できている状態が理想である。

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成15年度のみどりのリサイクル検討会を踏まえ、総合的にみどりのリサイクル、特に民間のみどりの資源化に着手する。事業の推進には区民の理解と協力が不可欠であり、実態にあったプログラムの実施が必要である。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 剪定枝葉を粉碎する際の騒音、堆肥化となるまでの臭気・不快害虫の発生を解決することが必要である。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	当面、検討結果を事業推進に反映させるため、詳細な検討・調整が必要である。

# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		苗木等の育成活用			整理番号	631		枝番号	2		
担当部課		都市整備部公園緑地課			コード	221908		連絡先電話番号	3595		
係名		みどりの事業係			上位施策名			No			
予算事業名		みどりを創る			コード	64100		水辺とみどりの保全創出	12		
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		48年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) みどりの条例 第2条 (2) 杉並区緑化用苗木育成管理委託実施要綱 (3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)								
	活動指標名(式)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
		(1) 苗木の配布数		(1) 配布苗木累計数に見る想定創出緑化面積							
		(2) 苗木育成による委託本数		(2) 苗木育成による農地保全面積							
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		本	6,610	5,636	5,500	4,397	3,000			
	活動指標(2)		本	24,900	19,700	14,000	14,000	10,500			
	成果指標(1)		m <sup>2</sup>	15,856	16,363	16,858	16,758	17,028			
	成果指標(2)		m <sup>2</sup>	505	332	442	442	330			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	5,232	3,547	2,520	2,520	1,890	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円	5,219	3,546	2,520	2,520	1,890			
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.50	0.50	0.40	0.40	0.40			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	4,542	4,497	3,640	3,640	3,640			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	9,774	8,044	6,160	6,160	5,530			
	単位あたりコスト ÷		円	1,479	1,427	1,120	1,401	1,843			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	9,774	8,044	6,160	6,160	5,530				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	79.9	活動指標(2)の16年度達成率%	100.0	16年度予算執行率%	100.0	苗木配布についてはイベント配布に移行、緑化啓発の一環として対応しているため。			
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		営農者への支援や農地保全の意味あいの強い事業であり、苗木活用という形ではなく、花材生産への取り組み検討を進める時期にきている。									

## 平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	農地保全・営農者支援及び苗木の安定供給を図ることを目的にしている。しかし、現在では、公共施設の新規・改修整備が殆どなく、苗木の活用が滞っている。また、苗木無料配布への疑問も生じている。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	苗木の無料配布を望む声はある。しかし、区が配布した苗木を寄付樹木として受け取って欲しいとの要望も出ている。(有料では苗木即売会と変わらない。現在のイベント参加記念としての苗木配布に対する要望はない。)
	今後の予測	相続や開発などで農地が減少し、営農者の高齢化も進んでいる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由:緑化の推進を目的にこれまで配布活動をしてきた。その結果として区内みどりを創ることにつながっている。農地の保全や営農者への支援の一環として一定の役割をはたしている。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容:  理由または具体的内容:苗木でなく花の育成に切り替え、「花咲かせ隊」の花壇管理として活用できないか検討していく。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容:苗木の配布について検討の余地はあるが、有料化した場合、緑化啓発の意図との整合性や苗木生産者逼迫の危惧(価格競争の中に区が参入することになる)が懸念される。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [対象の縮小] (具体的内容 )	理由または具体的内容:苗木配布(当係、他係で行う規模)を縮小するよう心掛けることで人件費はかからなくなる。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ ) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ ) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )	理由:  理由または具体的内容:苗木育成を営農団体に委託している。
	(6) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ ) 協働等の形態 協働[その他] (具体的内容 )	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み:営農者が花の生産を行い、「花咲かせ隊」が花壇管理で活用するなど、区が仲介・調整する 地産地消 型の協働の姿が理想である。

今後の事業のあり方(中長期)	<b>成果:</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 <b>コスト:</b> <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 現在事業として滞っている苗木配布・公共緑化のための苗木育成委託から、「花咲かせ隊」などのボランティアへの花材供給を検討し、地産地消 型の協働スタイルを模索する。さらにPRの方法により営農者・農地への関心も高まり最終的に農地保全が図られるようなあり方を検討していく。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 区民意識(苗木は無料でもらえるもの)からの変革。営農者の高齢化。苗木生産者が花卉生産が可能かどうか。
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 営農者への育成委託数の減少と花卉生産への移行の検討を行う。



# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		公共施設の緑化				整理番号	631		枝番号	3		
担当部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221908	連絡先電話番号	3595		昨年度整理番号	649		
係名				みどりの事業係				上位施策名		No		
予算事業名				みどりを創る		コード	64100		水辺とみどりの保全創出		12	
事務事業の概要	事業開始年度				●昭和 ○平成		48年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) みどりの条例第2条					
	区立小・中学校及び区立施設						(2)					
	区立小・中学校及び区立施設						(3)					
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				区立小・中学校及び区立施設の樹木の適正な維持管理を行う。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)						
活動指標名(式)				(1) 剪定実施施設数		(2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標				
				(1) 剪定実施施設数		(2)		(1) 剪定総本数				
				(2)				(2)				
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%			
					計画	実績						
指標	活動指標(1)		箇所	227	221	274	220	269	269	81.8		
	活動指標(2)											
	成果指標(1)		本	3,386	3,951	3,500	2,402	3,000	3,000	80.1		
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	77,261	69,348	69,380	69,378	68,730	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 区立施設の接道部緑化については施設規模が小さいこと、既に緑化事業が一旦終了していることから今後目標事業数を見込めない。よって接道部緑化は学校接道部緑化260mのみを目標数字とする。(学校エコアップ参照)			
	(内)委託費		千円	69,102	69,348	69,380	69,378	68,730				
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.30	1.17	1.20	1.20	1.20				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	2,725	10,523	10,920	10,920	10,920				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	79,986	79,871	80,300	80,298	79,650				
	単位あたりコスト ÷		円	352,361	361,407	293,066	364,991	296,097				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0	
差引:一般財源 -		千円	79,986	79,871	80,300	80,298	79,650					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	80.3	活動指標(2)の16年度達成率%		16年度予算執行率%	100.0	剪定要望がなく、専門的に見てもその必要がない施設があったため。				
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		樹木の生長や住民ニーズに答えていくためには施設管理者としての良好なみどりを育成していくという意識が重要であり、効果的な管理手法への検討が求められ、一層の連携が必要となっている。										

## 平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	学校をはじめとした公共のみどりは、区内緑化の先導的役割を担い、ますますまちの生活環境向上のため重要となってきている。一方維持管理対象樹木の生長の増加によりコストが上がってきている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	学校をはじめとした公共のみどりは、不安定な民間のみどりと異なり安定したみどりとしての意味合いが大きい。そのみどりを良好に管理することは安定したみどりを確固たるものとする上で重要である。樹木管理をしていく上で出てくる要望としては落ち葉、日照がある。
	今後の予測	公共のみどりは地域のみどりの核としてますます重要となるので良好な管理に努める。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 ) ▼	理由: 地域のみどりの核として公共施設のみどりは重要である。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) ▼ 成果向上のための方策 ▼	理由または具体的内容: 住民のニーズが多様化し、樹木の生長も増加することから今後コストが増加する。 理由または具体的内容:
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 ) ▼	理由または具体的内容: 公共施設であるため受益者負担の方式をとっていない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 ) ▼	理由または具体的内容: 良好なみどりの維持管理をするにはそれ相応の費用がかかる。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ ) ▼ 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ ) ▼ 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 ) ▼	理由: 理由または具体的内容: 樹木の状態を見て剪定の是非、施工時期、手法について専門的に判断し、計画的に施工する。
	(6) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ ) ▼ 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 ) ▼	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み: 良好な維持管理をするには専門的な判断が必要であり、専門業者委託を継続するべきである。

今後の事業のあり方 (中長期)	<b>成果:</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 <b>コスト:</b> <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 地域のみどりの核とするためには、施設管理者の良好なみどりを育成するという意識が重要となる。そのためには一層の連携を図り、よりきめ細やかな管理を行うことが必要である。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 緑化事業は、区立施設の管理者の理解と参加が必要である。また、樹木生長により維持管理費は上昇する。そのためできる範囲のものから管理者が手入れに参加してもらい、限られた費用の中で計画的な維持管理を行うための効果的な管理手法を検討していく。
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 中長期的にはコスト増も考えられるが、次年度についてはそのままの経費で現状維持ができると思われる。しかしながら、地域のみどりの核として公共施設のみどりを維持していくためには効果的な管理手法の検討を忘れてはならない。

# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		区営苗圃の維持管理			整理番号	632		枝番号		
担当部課		都市整備部公園緑地課			コード	221908		連絡先電話番号	3595	
係名		みどりの事業係			上位施策名			No		
予算事業名		みどりを守る			コード	64300		水辺とみどりの保全創出	12	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		48年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		根拠法令等			
	区有地2箇所(成田西・成田西第二)民有地2箇所(上高井戸、久我山)						(1) みどりの条例第2条 (2) (3)			
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)		農地の保全、寄付樹木の受け入れ用地、区民配布や公共施設緑化用苗木育成の役割を持つ。		事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか)		緑化推進を担う施設として運営してきたが、閉鎖的・費用対効果・他事業との整合性等の課題がある。開放的で有効活用された施設への変換を図っていく。			
	活動指標名(式)		(1) 苗木の育成本数 (2) 苗圃面積		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 緑化活用苗木本数 (2) (代)苗圃面積			
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%	
指標	活動指標(1)		本	10,336	12,801	12,801	12,509	12,509	100.0	
	活動指標(2)		m <sup>2</sup>	9,714	9,714	8,042	8,138	8,138	100.0	
	成果指標(1)		本	1,976	1,085	1,000	1,431	1,000	143.1	
	成果指標(2)		m <sup>2</sup>	9,714	9,714	8,042	8,138	8,138	100.0	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	16,593	15,926	25,335	21,051	13,693	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)委託費		千円	15,775	15,466	15,468	12,538	12,827		
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.50	0.50	0.40	0.43	0.40		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	4,542	4,497	3,640	3,913	3,640		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	21,135	20,423	28,975	24,964	17,333		
	単位あたりコスト ÷		円	2,045	1,595	2,263	1,996	1,386		
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都等からの支出金		千円						
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0		0
差引:一般財源 -		千円	21,135	20,423	28,975	24,964	17,333			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
16年度予算執行状況(節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	97.7	活動指標(2)の16年度達成率%	101.2	16年度予算執行率%	83.1	南荻窪苗圃返還のため撤去費用はかかっているが、年間維持管理費は(1箇所減になったため)減少した。		
前年度の改革案の取り組み状況(17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		16年度に南荻窪苗圃を返還したため、維持管理費用が前年度より減となった。								

## 平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	区営苗圃の開設当初は失業対策事業との関連があったが事業の廃止により苗圃運営が委託化された。また、区営苗圃の数は事業開始以降6箇所が増えたが、富士見丘・南荻窪苗圃の返還で現在4箇所となっている。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	区民に開放された施設(例えば、体験学習の場)としてほしいとの要望あり。
	今後の予測	閉鎖的苗圃運営から緑化技術の啓発拠点、みどりのボランティアの活動拠点、みどりのリサイクル運営拠点などを視野に入れた区民開放・参加型施設へと移行する。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 小(理由 )	理由: 公共施設の新設が減少しているため、苗木の供給増加は望めない。また、土地貸借契約による苗圃は動向が不安定であり、農地保全の意味が薄らいできている。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 4箇所の個々の苗圃に適した区民開放・参加型スタイルがあり、施設移行にあたっては現事業費ではまかなえない。しかし、施設移行後は事業費の縮減・成果向上は可能である。 理由または具体的内容: 苗圃という枠にとらわれず、区民開放・参加型の施設への移行検討が必要である。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 民有地の苗圃は無償借地であるため、受益者負担の見直しの考えはない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容 )	理由または具体的内容: 現状維持管理では、専門性の高い作業についてはコストを下げられないが低いものへのボランティア参加は可能である。区民開放・参加型施設となれば、コストの縮減は可能である。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ ) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ ) 協働等の形態 委託[業務量の50%以上に相当](具体的内容 )	理由:  理由または具体的内容: 専門的な作業が多く植物の状態によって作業工程が異なるため専門知識が必要となる。
	(6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ ) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容 )	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み: 区民開放・参加型の施設となり、ボランティア等による施設運営・維持管理がなされている状態が理想である。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 苗木購入と苗圃で苗木を生産するコストを比較すると苗木を生産して緑化することが必ずしも安価ではない。それよりは苗圃という形にこだわらない区民協働の活動拠点として、または区民に提供できる緑地として施設を移行させる。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 苗木の維持管理コストが年々かかるので、現在苗圃にある苗木を早期に公共施設の緑化材料として提供する。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	18年度は区民開放・参加型施設へと移行するための工事費が必要となる。

# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		緑化の助成				整理番号	633		枝番号		
担当部課名 都市整備部公園緑地課		コード	221908		連絡先電話番号	3595		昨年度整理番号	651		
係名 みどりの事業係					上位施策名				No		
予算事業名 みどりを創る					コード	64100		水辺とみどりの保全創出			12
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成				60 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) みどりの条例 第2条						
	接道部緑化助成は、道路に接した敷地部分を生けがき等にする個人の方 屋上・壁面緑化助成は、屋上・壁面を緑化する建物の所有者または管理者				(2) 杉並区接道緑化助成要綱						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 接道部緑化助成は、道路に接した敷地部分を生けがき等にする場合、既存の 塀の撤去費用と生けがき等を造る費用の一部を助成する。屋上・壁面緑化助 成は、建物の屋上またはベランダの全部または一部に緑化区画を設けて植栽 したものを、建築物の壁面に原則として補助器具等（ネットなど）を設置し、つる性 植物や樹木を壁に添わせたものに造る費用の一部を助成する。				(3) 杉並区屋上・壁面緑化助成金交付要綱						
活動指標名(式)				事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）							
(1) 接道部緑化助成延長累計				この助成事業によって、道路沿いの生けがき化や屋上・壁面緑化を行いやすくする。							
(2) 屋上・壁面緑化助成面積累計				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
				(1) (代)接道部緑化助成件数							
				(2) (代)屋上・壁面緑化助成件数							
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		m	3,414	3,838	4,538	4,093	4,793	6,193	66.1	
	活動指標(2)		m <sup>2</sup>	77.20	892.80	1,467.80	1,173.70	1,748.70	2,898.70	40.5	
	成果指標(1)		件	27	36		25				
	成果指標(2)		件	2	19		11				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	5,141	14,025	14,713	6,922	14,713	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円								
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.50	0.60	0.60	0.67	6.00			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	4,542	5,396	5,460	6,097	54,600			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	9,683	19,421	20,173	13,019	69,313			
	単位あたりコスト ÷		円	2,836	5,060	4,445	3,181	14,461			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	9,683	19,421	20,173	13,019	69,313				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の16年度達成率%	90.2	活動指標(2)の16年度達成率%	80.0	16年度予算執行率%	47.0	(1)の指標については、減少している。(2)については、実績は減少している。		
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			接道部緑化助成については、平成15年度生けがきの形状規定を明確化し、新たに生けがき、フェンス緑化、植樹帯の改修を含めた結果、利用者が増した。屋上・壁面緑化助成については広くPRするためのチラシを作成し普及に努めた結果、一般住宅屋上緑化が増えた。								

## 平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成11年度に生けがきのための助成制度から開始し、平成14年10月1日より屋上・壁面等対象を拡大している。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	ヒートアイランド現象等により、緑化に対する関心が高まり、問い合わせの件数が増加している。
	今後の予測	防災、緑視景観、生活環境の改善等の観点から、必要性の認識が高まってくると思われる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: まちのみどりが減少する中で道路に接した敷地を緑化することは緑視率の向上につながり、貢献度は大きい。また、屋上・壁面緑化はヒートアイランド現象を緩和する効果や、地球温暖化を防止する効果があり、貢献度は大きい。更に都市化が進んだ区内、特に商業地域における緑地の確保という意味からも重要な役割を果たす。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由: 一定の基準に基づく助成制度であるので、行政が実施すべき事業である。  理由または具体的内容: 建築相談会のような、区民にみえるPRを。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 緑被率を増加させるためには、接道緑化助成、屋上・壁面緑化助成を推進していく必要がある。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 屋上壁面緑化や接道部緑化については初期設置経費がかかるため、普及させるためには助成を推進していく必要がある。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 実現していない(今後可能性あり)(具体的内容 ) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ ) 協働等の形態	理由: 協働の意識がほとんどなく、相手を絞り込めない。  理由または具体的内容: 区も民間も、協働という考え方に付いての意識が未成熟であり、早急には行なえない。
	(6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ ) 協働等の形態	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄  理由または具体的内容: 区も民間も、協働という考え方に付いての意識が未成熟であり、早急には行なえない。

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 屋上・壁面緑化については申請件数が多く、助成できる件数が限られていることから、より広く対象にするため助成金の限度額の引き下げを含め検討する。 接道部緑化助成についてはPRの徹底に努めていく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 限度額100万円は申請の手間が大変だとしても魅力的である。限度額を下げた場合手間の方がかかるようだ申請件数が減少すると思われる。限度額の適正な額について検証する必要がある。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	助成制度に対するPR効果、区民の関心の高まりに伴い利用者の増加が見込まれる。みどりを創るための事業としてより効果的な事業に改善する。

# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		保護樹木・保護樹林・保護生けがき・貴重木の補助				整理番号	634		枝番号			
担当部課		都市整備部公園緑地課		コード	221908		連絡先電話番号	3595		昨年度整理番号	652	
係名				みどりの事業係				上位施策名		No		
予算事業名				みどりを守る				コード		64300	水辺とみどりの保全創出	12
事務事業の概要	事業開始年度			<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		48 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) みどりの条例 第11条						
	基準以上の樹木、樹林、生けがきを所有する個人・法人					(2) みどりの条例施行規則 第3条						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）			区内に現存する一定基準以上の樹木等を所有者の同意を得て区が保護指定し、維持管理に要する費用の一部を補助する。貴重木については所有者と一定期間（10年以上）の保全協定を結び、費用の一部を補助するほか、必要に応じて樹木医の派遣や支障となる枝の剪定も行う。なお、貴重木は平成14年度までに50本を指定し、今後はその本数を維持する。		事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）						
活動指標名(式)			(1) 保護樹木、保護樹林、生けがきの件数		(2) 保護樹林面積数値		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 継続率：(前年度保護樹木本数 - 今年度解除本数) ÷ 前年度保護樹木本数 * 100 (2) 継続率：(前年度保護樹林㎡数 - 今年度解除㎡数) ÷ 前年度保護樹林㎡数 * 100					
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%			
					計画	実績						
指標	活動指標(1)		件	750	762	762	764					
	活動指標(2)		㎡	621,181.49	617,227.83	620,000.00	614,646.05	620,000.00	620,000	99.1		
	成果指標(1)		%	98.9	98.3	100.0	100.1	100.0	100	100.1		
	成果指標(2)		%	99.8	98.7	100.0	98.6	100.0	100	98.6		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	30,785	28,211	39,328	28,696	35,920	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内)委託費		千円	200	728	2,589	1,204	2,801				
	職員数(常勤   非常勤)		人	1.20	1.30	1.30	1.31	1.30				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	10,900	11,692	11,830	11,921	11,830				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	41,685	39,903	51,158	40,617	47,750				
	単位あたりコスト ÷		円	55,580	52,366	67,136	53,164					
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0	
差引：一般財源 -		千円	41,685	39,903	51,158	40,617	47,750					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の16年度達成率%	100.1	活動指標(2)の16年度達成率%	98.6	16年度予算執行率%	73.0				
			建築計画によりやむを得ず樹木が伐採されたため、保護樹林面積が減少し補助金交付対象が減少した。									
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			制度の理解と協力を得るため、広報によるPRをおこなった結果。									

## 平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	保護樹木・保護樹林については、昭和48年の事業開始後増加していたが、相続等に伴い近年減少傾向が見られる。保護生けがきは、昭和50年に1,802mから、平成15年には5,928.9mに増加している。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	保護指定樹木に関わる日照問題、落ち葉の問題による近隣とのトラブルは少ない。また、所有者の高齢化や管理費の問題で、個人で維持することが困難となっており、行政や地域の積極的な支援を期待している。
	今後の予測	今後も相続や規制緩和などによって開発や宅地の細分化が進み、保護指定樹木の保全は困難になる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由:所有者の同意を得て保護指定を行うものであり、所有者の事情で簡単に解除できる。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	理由: 土地の細分化にともない、みどりの維持が建築面積の関係で困難になって来ている。 理由または具体的内容: 近隣関係の向上を図るため、周囲の住宅の屋根清掃とか雨どいカバーの設置などを考えていく。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 大木ほど維持管理費用がかかるため難しい。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 大木ほど維持管理費用がかかるため難しい。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ ) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ ) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容 )	理由または具体的内容:  理由または具体的内容:  理由または具体的内容:
	(6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ ) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容 )	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 周囲住宅屋根の落ち葉清掃などを行い、落ち葉は学校等の落ち葉溜へ入れ腐葉土として活用していく事をすれば、所有者の負担軽減になる。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 根拠法令等の見直しを行うことにより、継続的に樹木の状況を把握し、必要な指導を行うことにより、保護樹木等の基準の維持	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 所有者の負担が増大するなかで、行政としての役割を明確化することが困難である。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	樹木・樹林の解除が新規指定より多く、減少傾向が止まらない。



# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		緑化指導			整理番号	635		枝番号			
担当部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221908		連絡先電話番号	3595			
係名		みどりの事業係			上位施策名	No					
予算事業名		みどりを守る		コード	64300		水辺とみどりの保全創出	12			
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		年度						
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		根拠法令等 (1) みどりの条例 第19条 (2) 杉並区公共施設緑化推進要綱 (3) 寄付樹木取扱要領						
	一定規模以上の建築行為を行う個人、事業者。										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		区内のみどりを守り増やすため、200㎡以上の敷地で建築行為を行うものに対し、緑化計画書の提出を求め、用途地域に応じた緑化指導を行う。また、建築計画等により不要になった樹木を寄付したいとの申し出があった場合、基準を満たしたものであり受け取ることが可能であれば、樹木を受領し公共施設に移植する。								
活動指標名(式)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 緑化された率 (緑地面積 ÷ 敷地面積 × 100) 当 該年度完了届分で積算 (2) 計画実行率 (受領本数 ÷ 受領計画本数 × 100)									
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
指標	活動指標(1)			622	628	600	605	600	600	100.8	
	活動指標(2)			124	195	100	202	100	100	202.0	
	成果指標(1)			20.10	20.20	20.00	17.69	20.00	20	88.5	
	成果指標(2)			124	195	100	202	100	100	202.0	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,817	2,957	2,824	2,810	2,824	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円	2,699	2,697	2,700	2,697	2,700			
	職員数(常勤   非常勤)		人	2.75	2.71	2.63	2.68	2.63			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	24,978	24,374	23,933	24,388	23,933			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	27,795	27,331	26,757	27,198	26,757			
	単位あたりコスト ÷		円	44,686	43,521	44,595	44,955	44,595			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	27,795	27,331	26,757	27,198	26,757				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	100.8	活動指標(2)の16年度達成率%	202.0	16年度予算執行率%	99.5	寄付樹木制度の執行状況は高く、既存樹木の保全に重要な役割を果たしている。しかし、引き取り先が公共施設のみで対応しているため、引き取り量が限られ、申し出量との関係にズレが生じており、制度の検討が必要になってきている。			
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		緑化指導については広報PRと業者指導を充実した結果、緑化相談件数が増え、業者だけではなく施主の協力を得られるようになってきた。									

## 平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	開発による宅地化と敷地の細分化が進んでいる。既存樹木の伐採が目立つ
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	大規模開発に伴う樹木の伐採など、みどりの減少に心配する声が挙がっており、寄付樹木の扱いを誰でも参加できるようにできないか。区の積極的な緑化指導を求める住民要望も多く聞かれる。
	今後の予測	今後も相続や規制緩和などにより宅地の細分化や狭小化が進行し、緑地確保のため緑化指導の重要性が一層高まると予測される。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 緑化指導を行うことにより、みどりの減少に歯止めをかけ、一定程度のみどりの保全・創出が可能になる。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容:  理由または具体的内容: 緑化基準、緑地保全の必要性が理解されれば、企業等自主的な管理が可能となる。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 緑化はすべて区民、事業者の負担で行われている。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 必要最小限の経費で事務を行っている。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 実現していない(今後可能性あり)(具体的内容 ) 協働等の相手 協働等の形態	理由または具体的内容: 杉並区のみどりを守り、創り、育てていくために区内緑化推進に向けた連携や協働の仕組みをつくる。
	協働等のあるべき姿 (6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ ) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容 )	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み: 寄付樹木は、区民間のルール作りを行い、樹木の保全を図る。緑化指導については、企業との連携を図ることで、建築計画時の緑化相談やみどりにおけるエクステリアの企画相談を実施。表彰制度を設置して一層の充実を図る。

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減    コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 緑化相談を一層充実し、緑化計画と共に、植木の手入れから庭造りまで、緑化全般を相談できる緑化相談コーナーを定期的に開設し区民にみどりの大切さをPRし緑化基準の見直しも行う。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 みどりの条例の見直しが進められているため、見直し後主旨に適合した基準を作る。
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 最小限度の事務費で実施しているため。

# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		生き物生息場所の保全・創出				整理番号	636		枝番号										
担当部課		都市整備部公園緑地課		コード	221908		連絡先電話番号	3595		昨年度整理番号	654								
係名				みどりの事業係				上位施策名		No									
予算事業名				みどりを守る				コード	64300		水辺とみどりの保全創出		12						
事務事業の概要	事業開始年度				○昭和 ●平成		13年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業										
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等												
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) みどりの条例 第2条												
	区立小学校等						(2)												
	区立小学校等						(3)												
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				杉並区の貴重な植物を保全・創出するため、公共施設等の敷地の一角に貴重種の生息場所を設ける。								事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)				貴重な植物等を区民へ周知するとともに全員で大切に保全していく。			
活動指標名(式)												成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 保全箇所数(累計)												(1) 保全できた箇所数 ÷ 保全予定箇所数 × 100							
(2) 創出箇所数												(2) 創出できた箇所数 ÷ 創出予定箇所数 × 100							
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%										
					計画	実績													
指標	活動指標(1)		箇所	1	1	1	1	2	2	50.0									
	活動指標(2)		箇所	2	2	2	2	2	2	100.0									
	成果指標(1)		%	50	50	50	50	100	100	50.0									
	成果指標(2)		%	14	29	43	43	57	86	50.0									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	493	676	1,530	345	2,330	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 13年度はカタクリを保全(1箇所)・14年度は荻を創出(2箇所)・15年度は貴重植物を創出(2箇所)・16年度は貴重植物を創出(2箇所)										
	(内)委託費		千円																
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.20	0.15	0.15	0.15	0.15											
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	1,817	1,349	1,365	1,365				1,365							
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0				0							
	総事業費 ++		千円	2,310	2,025	2,895	1,710	3,695											
	単位あたりコスト ÷		円	2,310,000	2,025,000	2,895,000	1,709,900	1,847,500											
	財源	受益者負担分		千円															
		国・都等からの支出金		千円															
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0				0							
差引:一般財源 -		千円	2,310	2,025	2,895	1,710	3,695												
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0												
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%		100.0		活動指標(2)の16年度達成率%		100.0		16年度予算執行率%		22.5							
		貴重植物の選定はむずかしいが、わずかな予算でもボランティア参加による効果は大きい。																	
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		貴重植物を整備していくと共に、従来の自生品種の選定には、地域特性に合った品種の確保が重要で、確保するには他地域との連携が必要となる。そしてお互いの地域に影響があることから、自地域だけでなく他地域の環境に配慮した品種選定が求められている。																	

## 平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	14年度は地域区民センターで創出整備を行い、整備後の管理について区民と協定を結んだ。15・16年度は学習教材としての活用・保全が図られる小学校で創出整備を行った。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	生き物生息場所の保全・創出の事業に共感し維持管理等に協力的な意見が出されている。一方、貴重種の創出は、国内のどこからか調達せざるを得なく、調達先では、貴重種の減少を招いているのではないかとこの事業に対する矛盾の声が出ている。
	今後の予測	みどりを取り巻く自然環境は悪化すると予想され、杉並区の地域特性に合った従来より自生していた貴重種(レッドデータ)を保全することは生態系の観点からも重要な意味をもつようになる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由 )	理由: 失われつつある貴重な生き物を保全することができる。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( へ ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容:  理由または具体的内容: 専門知識のあるボランティアに依頼して整備段階から参加していただく。
	(3) 受益者負担の見直し余地は	理由または具体的内容:
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容 )	理由または具体的内容: 区民の参加などにより、施工費や管理費の削減を図ることが可能である。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している( へ ) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( へ ) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容 )	理由:  理由または具体的内容: 貴重植物の維持管理においてボランティアと協定を結び保全に努めている。
	(6) 協働等の相手  協働等の形態 協働[その他](具体的内容 )	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み: 生き物の保全創出は、公有地・私有地を問わず区民の理解・協力がなければ成り立たない。区の財産であるとの認識のもと、みんなで大切に守り育てている状態が理想である。

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 「杉並区自然環境調査報告書」をもとに、環境課との連携を図り、区の財産としての貴重種の選別を行う。杉並らしい面影を再現できる事業でもあるので、計画段階では環境課・地域課・教育委員会、整備維持管理段階では維持課等とのタイアップした事業展開を検討していく。また、積極的に区民や学校の参加を促していく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 事業及び整備箇所のPRについて、盗掘の恐れや人的な環境変化による貴重種の絶滅・減少が危惧される。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	区内に残された未利用のがけ地の保全を図り、貴重種の保全に取り組む。

# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		市民緑地の設置及び管理				整理番号	637	枝番号		
担当部課名 都市整備部公園緑地課		コード	221908	連絡先電話番号	3595	昨年度整理番号	655			
係名 みどりの事業係		上位施策名				No				
予算事業名 みどりを守る		コード	64300	水辺とみどりの保全創出				12		
事務事業の概要	事業開始年度 ○ 昭和 ● 平成		年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 都市緑地法 第55条 (2) みどりの条例 第2条、第11条 (3) 杉並区市民緑地「しいいの森」の設置及び管理に関する要綱							
	300㎡以上の良好な樹林地等の所有者		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)							
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		良好な生活環境の形成を図るため、区内の樹林地を区が長期間借上げ、区民が利用する市民緑地として管理し公開する。								
活動指標名(式)		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 樹林地を区に貸すことによって、所有者が固定資産税の免除などの税制措置を受けることができ、その樹林地を保全しやすくなる。								
(1) 市民緑地面積		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 樹林等の保全率 (市民緑地管理面積 ÷ 市民緑地面積 × 100)								
(2) 市民緑地設置数		(2)								
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%	
					計画	実績				
指標	活動指標(1)		㎡	2,112	2,112	2,112	2,112	2,112	2,112	100.0
	活動指標(2)		箇所	2	2	2	2	2	2	100.0
	成果指標(1)		%	100	100	100	100	100	100	100.0
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	214	220	216	216	2,385	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)委託費		千円		161	157	157	157		
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	908	899	910	910	910	
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	
	総事業費 + +		千円	1,122	1,119	1,126	1,126	3,295		
	単位あたりコスト ÷		円	531	530	533	533	1,560		
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都等からの支出金		千円						
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	
差引:一般財源 -		千円	1,122	1,119	1,126	1,126	3,295			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%		100.0	活動指標(2)の16年度達成率%		100.0	16年度予算執行率%	100.0	
		市民緑地2箇所の維持管理を実施。								
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		17年度は安全対策のため、「清水しいいの森」における大谷石積改修工事を予定。(事業費:2,170千円)								

## 平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	個人所有の樹林で最も面積の大きいものは屋敷林であるが、マンションや駐車場などの建設にともない伐採され、面積が減少するとともに狭小化が進んでいる。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	現在、2箇所の市民緑地(いこいの森)が公開され区民利用がされているが、犬の放し飼いや糞の始末などの苦情が寄せられている。また、夜間の防犯上の問題についても不安との声が出ている。
	今後の予測	今後も、開発や宅地化の進行により、昔ながらの屋敷林は減少していくと予測される。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 貴重な樹林を守るとともに、区民がそれを利用し豊かな区民生活ができるようになる。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 専門的な部分を除く維持管理について地域住民(ボランティア等)などと連携を図る。 理由または具体的内容: 専門的な部分を除く維持管理について地域住民(ボランティア等)などと連携を図る。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 市民緑地は無償借地であり、区民に公開する制度であるため、見直しの考えはない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容 )	理由または具体的内容: 維持管理経費も最小限に管理しているが、地域住民(ボランティア等)の清掃・樹木維持管理等への協力により現コストの削減は可能である。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ ) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ ) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容 )	理由: 理由または具体的内容: 市民緑地は所有者との契約により区民に公開されている。維持管理については業者委託、資材提供等で行われている。
	協働等のあるべき姿 (6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ ) 協働等の形態 協働[その他](具体的内容 )	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み: 地域住民(ボランティア等)との協働により、市民緑地の維持管理(清掃・樹木管理等)・防犯に対する監視機能・PR(事業内容・活動内容)がなされている姿が理想である。

今後の事業のあり方(中長期)	<b>成果:</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 <b>コスト:</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 区内の貴重な樹林地については、所有者の理解と協力が不可欠である。平成16年「都市緑地法」へと改正し、市民緑地の対象が樹林地ばかりでなく、草地等へと拡大された。緑地保全を担う制度であるので、対象地の把握と制度の積極的なPRに努める必要がある。また、管理面では住民との協働を模索する必要がある。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 市民緑地制度について積極的にPRするとともに、開発や宅地化を防止するため、将来的には区が買い取り公園緑地化していくことも検討する必要がある。
18年度方針	(1) 18年度予算見積りの方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 市民緑地となりうる対象地の把握と制度の積極的なPRを行っていく。

# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		みどりの調査・研究				整理番号	638		枝番号		
担当部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221904	連絡先電話番号	3593		昨年度整理番号	新規	
係名					みどりの計画係			上位施策名		No	
予算事業名					みどりを育てる、みどりを守る			コード	63900	水辺とみどりの保全創出	
事業開始年度					○ 昭和 ● 平成			16 年度			
事業の種類					<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理			<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
対象					<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他			根拠法令等 (1) みどりの条例 (2) (3)			
事務事業の概要	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）					事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）					
	みどりに関する計画やみどりの施策のあり方について学識経験者や区民とともに検討する。					区民が創る「みどりの都市」杉並を効果的に具体化するための方策を検討する。					
	活動指標名(式)					成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標					
(1) 調査・研究の項目数					(1)						
(2) 検討会など開催回数					(2)						
区分	単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%			
				計画	実績						
指標	活動指標(1)	件			1	1	3				
	活動指標(2)	回			5	5	15				
	成果指標(1)										
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費	千円			829	515	317	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内)委託費	千円			0	0	0				
	職員数(常勤   非常勤)	人			2.00	1.66	1.50				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	0	0	18,200	15,106		13,650		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		0		
	総事業費 + +	千円	0	0	19,029	15,621	13,967				
	単位あたりコスト ÷	円			19,029,000	15,621,000	4,655,667				
	財源	受益者負担分	千円			0	0		0		
		国・都等からの支出金	千円			0	0		0		
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0		0		
差引:一般財源 -		千円	0	0	19,029	15,621	13,967				
受益者負担比率 ÷	%			0.0	0.0	0.0					
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	100.0	活動指標(2)の16年度達成率%	100.0	16年度予算執行率%	62.1	支出は検討委員謝礼と印刷費である。			
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		16年度はみどりの条例見直し検討委員会を開催した。17年度はみどりの基金検討、屋敷林検討とみどりの相談所の検討を行う。またみどりのリサイクル計画に基づくサポーター制度等を検討する。									

## 平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	みどりの調査・研究は多様化複雑化する区民の緑に対する要望と都市におけるみどりの保全をすすめるために今後とも重要性は増大する。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	個々のみどりの施策に対して多くの要望が寄せられている。
	今後の予測	区の緑化施策に対する区民の要望は今後の多様化し増加することが予想される。区はこれらの要望にきめ細かく答えることが求められる。みどりの調査研究の必要性は増加する。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由: 区民が創る「みどりの都市」杉並を実現するための基礎的な事業である。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 人件費・活動量の増加(具体的内容 )	理由または具体的内容:  理由または具体的内容: 検討事項によってはボランティアなどの参画により費用を最低限に抑えながら高い効果を得られる。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 検討組織などである。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 内部検討組織である。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ ) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ ) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容 )	理由: 改定作業中のみどりの条例の中に区民との協働を  検討委員などについてみどりのボランティアの参加をお願いした。
	(6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ ) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容 )	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 緑化施策の計画立案、実施、評価について区民の参画ができる制度をつくる。

今後の事業のあり方 (中長期)	<b>成果:</b> <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 <b>コスト:</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 みどりの実態調査については5年ごとに実施している緑化施策の基礎となる調査であり平成19年度の実施を予定している。その
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 屋敷林の保全などみどりの事業については短期的に解決できない課題も多い。
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 屋敷林の保全の問題など継続的に取り組み課題がある。



# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		憩いの水辺創出			整理番号	570		枝番号	584		
担当部署		都市整備部建設課			コード	221010		連絡先電話番号	3428		
係名		施設整備係			上位施策名		No				
予算事業名		憩いの水辺創出			コード	60100		水辺とみどりの保全創出		12	
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		13年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 地方自治法第281条 (2) 河川法第16条 (3) 特別区における東京都の事務処理の特例に関する条例						
	区内3河川(神田川・善福寺川・妙正寺川)流域の居住者や利用者		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		区内3河川(神田川・善福寺川・妙正寺川)区域において、人が水に触れ、憩うことのできる水辺環境を創出する。		区民生活にやすらぎや潤いを与え、生活活力の増進を図る。						
活動指標名(式)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標									
(1) 親水施設整備延長		(1) 親水施設整備率 = (親水施設整備延長 / 親水施設整備対象延長) × 100									
(2) 河川内湧水整備箇所		(2) 河川内湧水施設整備率 = (河川内湧水整備箇所 / 河川内湧水整備対象箇所) × 100									
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		m	24,800	0	0	0	0			
	活動指標(2)		箇所	0	1	1	1	0			
	成果指標(1)		%	0	0	0	0				
	成果指標(2)		%	0	50	50	50				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	4,975	5,203	6,530	9,189	18,904	<b>特記事項</b> <small>(指標、事業費等の変化の理由など)</small> 活動指数(1)の目標値は累計。14年度実績値はこれまでの累計数値。最終目標は38,340m整備計画により、河川内湧水施設を2年間で2箇所整備する。15年度1箇所、16年度1箇所の整備実施		
	(内)委託費		千円	4,935	4,788	6,000	9,161	18,860			
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.25	0.35	0.35	0.35	0.60			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	2,271	3,148	3,185	3,185	5,460			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	7,246	8,351	9,715	12,374	24,364			
	単位あたりコスト ÷		円	292							
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							12,700
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			12,700
差引:一般財源 -		千円	7,246	8,351	9,715	12,374	11,664				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%		活動指標(2)の16年度達成率%		100.0	16年度予算執行率%	140.7	ほぼ計画どおり執行した。		
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		16年度の湧水施設整備については、工法やコスト削減について検討を行った。17年度予算は河川機能の保全・充実を図るため、区内3河川において、河川補修計画策定の実施及び親水施設整備の河川緑化工事実施のため、予算増となっている。									

# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	河川沿いの空間を親水性のある散歩道として整備を行った「親水プロムナード」の整備、事業を盛り込んだ13年度からの新規事業であり、13年度は研究・調査を行い、14年度は整備計画の策定を行った。15・16年度は整備計画に基づき、河川内湧水施設整備を各1箇所行った。
	事業に対する住民の意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	河川について、治水・利水の役割だけでなく、貴重な水とみどりの空間として住民に潤いを与え、様々な生物の多様な生息・生息環境を形成するものとして、その役割は大きく見直されている。みどりや水の資源環境を大切にする区民の意識の高まりを考慮しつつ、水と身近に親しめる環境づくりを積極的に推進することが期待されている。
	今後の予測	水辺は、貴重な水とみどりの空間として地域社会に潤いを与え、まちの景観形成や余暇の有効活用などにおいて、重要な役割を果たしている。特に最近では、まちづくりと一体的に水辺空間の整備を図ることが社会的要請となっている。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 水辺空間をよりみどりや水に親しめる環境に移行することは、失われつつある自然環境の保全・創造に大きく貢献し、区民の自然を大切にする意識をより高めていくとともに生活活力の増進が図れる。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 設計・施工にあたり、工法やコスト削減を考慮するため、ある程度の効果の向上が図れる。  理由または具体的内容: 工法やコスト削減について検討を行う。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 環境づくりにおいて、居住者や利用者を限定することはできないため、受益者負担は不相当である。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 定期的に工法やコスト削減に関する検討を重ね、改善に努めている。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ ) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ ) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )	理由: 企業に対する工事請負及び委託も広い意味での協働と解釈する。従って、協働は十分実現している。  理由または具体的内容: 河川内湧水施設整備に関する工事請負及び委託(湧水施設整備工事、整備工事に係る企画等作成委託、河川管理通路空洞調査委託)
	(6) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ ) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄  今後の具体的な取り組み: 事業の性質上、施行にあたっての指示・確認は区自らが行う工事請負・委託形式が適切と考える。従って、NPO・ボランティア・市民活動団体や社団法人・財団法人等の公益法人への協働は予定していない。なお、事業量に対する工事請負費・委託料は既に業務量の50%以上に達している。

今後の事業のあり方(中長期)	<b>成果:</b> <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 <b>コスト:</b> <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 まちづくりと一体的に水辺空間の整備を図ることが社会的要請となっているため、具体的な事業計画に向けて検討を行う。また、整備については工法やコスト削減について検討することが重要である。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 整備計画に基づき、整備主体(都及び区内関連セクション)、整備手法、予算措置(財源確保: 都交付金の導入等)等を明確にし、実施する必要がある。
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 河川機能の保全・充実を図るため、親水施設整備(護岸・河床緑化、キロポスト整備、護岸・河床補修、施設の面的整備等)を実施する。なお、財源確保のため、東京都・特別区事務処理特例交付金の導入を図る。